

学校訪問シリーズ 91

大分市立宗方小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「学び合い、支え合い、たくましく生きる子どもの育成」を達成するため、学校として育成を目指す資質・能力を「人の話を聴き、自分の言葉で伝える力」と定め、体力、学習、生活チームを中心に計画的に実践を行っています。

本校では、現状に対して「なぜそのような結果になったのか」という要因分析から課題を明確にし、「どのような資質・能力を育成するために行うのか」という、目的に対するの共通理解を図っているため、教職員の個性を生かしたボトムアップの実践が行われています。

その一例として、廊下には、図書や新聞、顕微鏡でいつでも観察できるようなコーナーを設置し子どもの意欲を高めています。さらに、学校運営協議会に子どもを参加させ、それぞれの当事者意識を高めています。



NO.505 2022年11月 大分市立宗方小学校

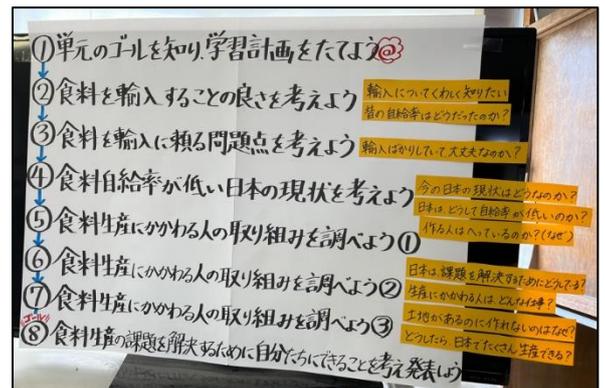
主体的に

これまで学んだことから予想し、友達の考えを聴き、自ら調べたから自信をもって発言できる。

授業から学ぶ

めざす教師像「あたたかく、心をこめて聴く教職員」「ほめて、認めて、はげます教職員」を意識しているのでしょうか、学校全体が安心して学べる空間のように感じました。

特に素晴らしい点は、右の写真のように単元計画を示すことで、子ども自身が目的意識をもって取り組んでいました。また、指導案の「ふりかえり」も、子どもの言葉で明記されているので、本時の「めあて」や評価規準も明確です。これらは他の範となる素晴らしい実践です！是非とも、広く発信してください。



NO.506 2022年11月 大分市立宗方小学校

学び合い

タブレットは、自由に動かしたり、考えをまとめたり、友達の考えを知るための道具。そんな道具を使って学び合うのは人間。



NO.508 2022年11月 大分市立宗方小学校

支え合い

拍手は、「すごいよ」「がんばれ」「上手だよ」「おめでとう」そんな思いが込められている。



NO.507 2022年11月 大分市立宗方小学校

たくましく

最初はできないことも、励まし合い、助け合い、競い合える仲間がいるからチャレンジできる。